



病院説明会で病院に入った瞬間に ここだ！と一目惚れし入職した 目標となる先輩が沢山いる

3階1病棟
医療療養病棟
鈴木 ころろさん



Q.入職した時の気持ちと現在の気持ち

A.実習で来ていないのでどんな病院なのか、社会人としてやっていけるか不安が大きかったです。現在は、まだ社会人になった実感が少ないですが、できることが増え、不安は軽減してきています。

Q.今行っているケアや業務

A.1部屋4名を部屋持ちしています。自身が主体で指導者と一緒にバイタルサインの測定や処置等を行っています。具体的には、体温測定や経管栄養の準備や実施、痰吸引等を行っています。他には、お化粧好きな患者さんの髪を梳かしたり化粧水をコットンで塗ったり整容のケアを行っています。

Q.仕事をしていて楽しかったことや難しさ

A.患者さんの整容を行って、笑顔を引き出せたことが嬉しかったです。もう一つは、自分で動くことに対して意識が低下している患者さんに「できるところまでで良いので一緒にやってみましょう」と工夫した声掛けをし、患者さんのできる所を促して強みを引き出せたことが嬉しかったです。患者さんの血圧が低い時にどうしたら良いのか分からなかったことがあり、指導者さんに相談して対応しました。身体の仕組みやメカニズム、解剖生理を理解して関わるのが難しいと感じています。

Q.研修で活用できたこと

A.看護技術の注意点や声掛けについて、日々のケアに活かされています。また、ストレッチャーの移乗・移送の研修で患者さん役を体験し、早いスピードで怖い思いをしたので、どんなケアも丁寧に行って声掛けし安心できるケアを大切にしています。

Q.今の目標

A.疑問に思ったこと、苦手なことを克服できるように努力していきたいです。病棟に目指したい先輩が看護職にも他職種にもいます。これからも先輩から学んでいきたいと思っています。看護技術は、気切患者さんの痰吸引ができるようになりたいです。

Q.学習方法

A.毎日1つでも気になったことなど学習しています。新しい処置等、実践に活かせることを意識して学習しています。学習したことは、病棟で疑問に思った時に確認するようにしています。方法は、自宅で15分程度行ったり、マイカー通勤なので出勤前のわずかな時間を使って車内でも学習できるように工夫しています。



Q私の国家試験対策と就活

A.学校で模試を受けていました。動画の方が3Dでイメージしやすいので、YouTubeで勉強していました。愛全病院は、病院説明会のみで、入った瞬間に「ここだ！」とビビッと一目惚れして決めました。私は、診療の補助や処置より、時間をかけて患者に触れ合う看護がしたいと思い、慢性期病院と決めていたので、ある程度病院が絞れました。インターンシップは沢山行くと迷うと思っていましたが、実際に急性期病院へも行ってみて、やっぱり慢性期病院が良いと思いました。自分がやってみたい看護が決まっていな人は、インターンシップに行ってみるのも良いと思います。

